

平成二十九年三月三十日

平成二十九年第一回都議会定例会を終えて（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 高木 けい

第一回定例会は、平成二十九年度当初予算案をはじめ、知事提出の議案等について精力的に審議し、本日終了しました。

はじめに、都民が一刻も早い解決を望んでいる豊洲市場の移転問題について申し述べます。

昨年八月、知事は築地市場の移転延期を発表しましたが、その後、現在にいたるまで、明確な方針を示さないままであります。いま、都民の大多数の意見は、一日も早く市場移転への判断を示せということです。また、築地市場関係者にとっては、豊洲と築地の両方に重複投資を強いられ、経営は圧迫され、大きな困難に直面しています。

今定例会では、こうした事態に対して、知事が果たすべき判断を示さないまま、中央卸売市場関係の予算案を審議することになりました。

まず市場予算の審議にあたっては、築地市場の営業継続に関する予算及び豊洲移転に関する予算について議論する必要がある、その前提として、市場移転に係る都の基本方針を明確にすることが、必須の条件でありました。

しかし、本会議や常任委員会はもとより予算特別委員会においても、知事や理事者からは、都民が納得できるような答弁はありませんでした。

このため、我が党は、この問題の早期解決に向けて、予算特別委員会の審議日程の延長を申し出ましたが、公明党、共産党、都民ファーストの会等のいわゆる小池与党連合の反対によって、延長は否決されました。

また、我が党の質疑により、築地市場内の建物の既存不適合の問題、アスベストの問題、土壌汚染の可能性などが明らかになりました。しかし、今回の予算案では、築地市場の安全性等を確保する費用が十分に計上されていないばかりか、土壌汚染調査費用に至っては、1円も計上されておられません。

さらに、豊洲移転延期に伴う市場関係者への損失補償についても、市場当局は97億という試算を行っているにも関わらず、全体像が把握されていない等の理由により、50億円に減額しました。これでは、年度途中で予算が不足することになるのは明らかです。

このため、我が党は、築地市場の土壌汚染調査費用、安全性を強化する営繕費やアスベスト対策費など合計6億円の増額及び豊洲移転延期に伴う補償金の47億円の増額を求める動議を提出しました。

しかしながら、この予算組替の動議についても、同様に公明党、共産党、都民ファーストの会等のいわゆる小池与党連合の反対によって否決されました。

現在、築地市場で営業を続けている業者の方はもとより、多くの都民は、豊洲移転問題の一刻も早い解決を待ち望んでいます。知事は、豊洲市場の移転問題について、市場関係者や都民が納得できる、明確かつ具体的な結論を、一日も早く明らかにすべきであります。

なお、知事提出の予算案について我が党は、市場会計当初予算及び補正予算の増額を求めるものであり、都内十一か所の卸売市場の運営等に要する予算を否定するものではありません。また、その他の議案についても、これまでの我が党の政策と軌を一にするものであり、知事提出の全議案に賛成いたしました。

現在の都政は、一刻の猶予も許されない重要な課題が山積しております。

しかし、今定例会では、一連の知事の不十分な答弁により、市場関係の質疑に多くの時間を割かざるを得ず、他の主要課題については、残念ながら十分に掘り下げて質疑を行うことができませんでした。

従いまして、我が党は、議会規則にのっとり108項目におよぶ文書質問を提出いたしました。知事及び理事者には、誠意ある答弁を求めるものであります。

東京都議会自由民主党は、都議会第一党として、東京を「世界で一番の都市」にするため、これからも全力で政策提言を行い、知事との建設的な議論を通じて、都政の発展に尽力していくことをお誓い申し上げます。